

掛川地区

更女会だより

第 90 号 更女だより

大須賀支部担当

平成 28 年 2 月発行



心をつなぐ 10 円玉

会長 中山キクエ

歌手「八代亜紀」の曲の中に「心をつなぐ 10 円玉」という歌があります。私は、テレビから流れるこの歌詞を聴いて「あっ！」と思いました。心に強く感じるものが…。歌詞の一部を書き記します。これは八代さんが実際に経験した事だとお話ししていました。卒業が近づいた生徒に、先生が 10 円玉の入った小さな袋を渡したことが始まりです。

たった一つの 10 円玉
死ぬな、死ぬな、死んじゃいけない
苦しい時は電話をかけてこい
君は、君は独りじゃない
どんなことでも電話をかけてこい
あの日の言葉がありました
先生ありがとう
遠い昭和のことだけど
今も私の宝物

略した歌詞ですが、このような内容のものでした。今の子ども、昭和の子ども心の中は同じだと思います。子供の心の中に、「自分を守ってくれる大人の人がある。本当に困ったら話を聞いてくれる人があるんだ。」そういった気持ちがあると、安心感を持って生活が出来ると思います。安心して生活できたら、自ら死を選ぶことはなくなるのではないのでしょうか。

あなたがこの世の中に生まれてきたのは
必ずあなたを必要とする場所がある
あなたがしなくてはならない事があるから

もし子供達に、常にこの様な事を伝える場があったら、命の大切さを話す事もできると思います。むしろ、場を作るのは私たちなのかもしれません。子供達と共に私達も成長していきたい。素晴らしい歌に出会えて良かった。こんな思いをするのは、私だけかしら…？

目次

- P1 心をつなぐ 10 円玉
(中山キクエ)
- P2 「少年の家」夕食作り
(小澤悦子・近藤正子)
- P3 西部ブロック研修に参加
して (内藤とみ江)
ふれあい広場に参加して
—掛川— (落合満江)
- P4 —大須賀— (木下艶子)
—大東— (山下幸代)
刑務所矯正展へ参加して
(木下艶子)
- P5 平成 27 年度冠講座・
県立掛川西高にて
(戸塚久美子)
- P6 表彰式に出席して
(鈴木幸子・落合きくゑ・鈴木き
みゑ・立石佐江子・戸塚久美子)

掛川市福祉課

掛川市長谷 1-1-1

TEL:21-1140 FAX:21-1163

掛川地区更生保護女性会

<http://kakegawa-koujyo.com/>

会長 中山キクエ

TEL:090-4790-4064

－「少年の家」夕食作り－

掛川支部 小澤悦子

9月28日、理事5人で更生保護施設「少年の家」に夕食作りに行きました。初めての参加のために不安でいっぱいでした。食材節約のため、家で採れた野菜を持ち寄りました。カボチャ・じゃが芋・ナスなどです。メニューは、ブリとナスの煮物・じゃが芋のベーコン炒め・カボチャのサラダ・野菜スープ・デザートにぶどうとバナナ。11人分の夕食が豪華にできました。

終了後、白井施設長の案内で施設の見学をしました。平成26年3月に新築されたこの施設は、木材をふんだんに取り入れ、とても明るい雰囲気でした。屋上にはソーラーの設備が整い、環境にも気がつかっていることがわかりました。「少年の家」なのに、かつては70代の方も入所されていたと聞き驚きでした。

社会復帰をしても帰るべき家庭や地域がない方にとって、今夜の夕食はおかあさんの味がしたのでしょうか？ 更生保護女性会として、何ができるのか考えさせられる夕食作りでした。他の家庭のメニューや味付けも参考になり、調理時間も楽しく過ごすことができました。



大東支部 近藤正子

11月9日、掛川駅より電車とタクシーを乗り継ぎ静岡へ。今回は大東支部の当番ということで、都合のつく人4人で行き、午後1時頃から施設の調理室で作り始めました。事前の打ち合わせもできていたので、デザートを含む4品がスムーズに出来上がり、盛りつける頃には施設の方が来て大変喜んでくださいました。「家庭の味を少年に」と、心を一つにして楽しく作りました。支部長さん



さんができ上がった料理を写真に撮る時には、皆ほっとしておりました。昨年新しく建て替えられた施設は、とてもきれいで設備が良く、個人個人の冷蔵庫があり細かく配慮されていると思いました。建設費の一部に、更女のお茶の積立金が寄付されていると聞いております。また、施設の職員さん達が、少年に親の様な心配りをしている様子を知り、頭の下がる思いをしました。

🌟🌸 お知らせ 🌟🌸

来年度の少年の家夕食作りは下記の日程で行います。

平成28年5月26日(大東)、9月26日(大須賀)

平成29年3月13日(掛川)

まだ参加したことのない方にぜひ行っていただきたいと思います。

御希望の方は理事までお声かけください。

刑務所矯正展へ参加して

大須賀支部 木下艶子

晴天に恵まれバス二台に分乗し静岡刑務所矯正展へ行ってきました。広い敷地に物産展が立ち並んでおり、人で賑わっていました。また、受刑者の方の制作物が大きな倉庫内に所狭しと並んでいました。家具、玩具、花瓶等、大小様々な作品でびっくりでした。革靴は人気商品で在庫が少なくなっていたようです。



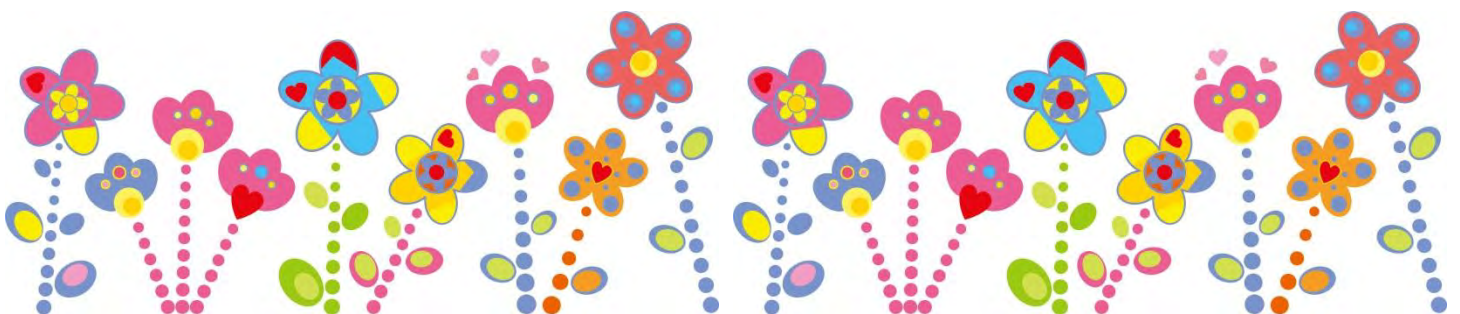
竹でできた茶托が丁寧に作られており、購入してきました。他の人も大きな袋でいっぱいでした。14時から2班に分かれて刑務所内の見学をしました。受刑者の日常生活、食事の内容、作業場等の見学・説明を聞きました。全てが監視の生活です。1日も早く普通の生活に戻られる事を祈るばかりです。

平成 27 年度の冠講座・県立掛川西高校にて

掛川支部 戸塚久美子

冠講座は 27 年度で第 3 回になります。25 年度は掛川東高校、26 年度は横須賀高校でした。「冠講座」は講座に冠が付いていて、寄附された講座と言うことで使われる言葉です。ですから、掛川地区更女会が贈ってくれた講座と学校で紹介してくれることを望んでいます。生徒諸君にはどこまで伝わっているかは疑問です。市内の 4 つの高校が 2 順目になればその意味もお分かり頂けると思っています。

今年東部でご活躍の助産師番内先生の性教育の講座。高校生が妊娠して保護者らも産むことを望んだが、その後・・・という実体験に基づいたお話に、家庭では教えるににくいテーマであり、充分高校生に通じるものがあったと感じました。赤ちゃんポストに 1000 人も預けられ、少子化と言っても中絶で何千人も命を奪い、青少年の心と身体に傷をつけています。正しい性の知識を青少年に理解してもらうことは虐待を招かない第一歩でもあると感じ、私達が出来る高校支援を続けて頂けたらと願っています。



「掛川地区更生保護女性会」が静岡保護観察所長感謝状受賞！！

平成 27 年 11 月 11 日、静岡県更生保護大会が下田市民文化会館で開催され、団体では掛川地区更生保護女性会が、個人では5名の方が表彰されました。皆様おめでとうございます。お一言ずつ頂きましたので紹介させていただきます。

★日本更生保護女性連盟会長表彰

鈴木幸子さん
保護司の方々と出席させていただきました。日本更生保護女性連盟千葉景子会長から表彰され、身に余る光栄でございます。これからも地域から犯罪や非行が出ないように、人の輪を大切に務めていきたいと思ひます。

★静岡保護観察所長感謝状

落合きくゑさん
何もお役に立てていないのに、このような表彰をしていただき恐縮に思ひます。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

立石佐江子さん
この2年間、皆様方の温かいご支援に支えられ、大須賀支部長を務めさせていただくことができました。ここに改めて心より感謝申し上げます。今後も更女としての信条に基づき、地域社会での活動に尽力していきたいと思ひます。

戸塚久美子さん
新事業計画で、命の大切さを伝えるという観点から冠講座を新設したことに評価頂き、嬉しく思ひます。今後も更女の一員として積極的な活動を行って参りたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひします。

鈴木きみゑさん
私がこのような賞をいただけていいものかと恐縮しております。ありがとうございました。皆さんについていくことで精一杯ですが、これからも更女の活動に参加させていただきたいと思ひます。